

月例経済報告（2021年7月）

● 月例経済報告（7/19）

<p><b>基調判断</b></p>	<p>(7月) 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。 感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p> <p>(6月) 景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。 感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>
<p><b>個人消費</b></p>	<p>(7月) このところサービス支出を中心に弱い動きとなっている。</p> <p>(6月) このところサービス支出を中心に弱い動きとなっている。</p> <div data-bbox="683 533 1348 918"> <p>消費総合指数と実質総雇用者所得</p> </div>
<p><b>設備投資</b></p>	<p>(7月) 持ち直している。</p> <p>(6月) 持ち直している。</p> <div data-bbox="683 936 1348 1321"> <p>製造業・非製造業の設備投資(名目額)</p> </div>
<p><b>住宅建設</b></p>	<p>(7月) 底堅い動きとなっている。</p> <p>(6月) 底堅い動きとなっている。</p> <div data-bbox="683 1344 1348 1729"> <p>住宅着工戸数(季節調整値)</p> </div>
<p><b>雇用情勢</b></p>	<p>(7月) 感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人等の動きに底堅さもみられる。</p> <p>(6月) 感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。</p> <div data-bbox="683 1751 1348 2128"> <p>雇用者数、就業者数の推移</p> </div>

生産	(7月) 持ち直している。	<p>鉱工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移 (2015年=100)</p> <p>在庫率 (目盛右) 出荷 生産 (目盛右) 在庫 (目盛右) 予測調査</p> <p>2009 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 (年)</p>																
	(6月) 持ち直している。																	
輸出	(7月) 緩やかな増加が続いている。	<p>地域別輸出入数量指数 ①輸出 (2015年=100)</p> <p>全体 アジア (57.3%) E U (9.2%) アメリカ (18.4%)</p> <table border="1"> <tr> <td>全体</td> <td>5月 ▲2.5%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA +1.1%</td> </tr> <tr> <td>アジア</td> <td>5月 ▲0.2%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA +3.1%</td> </tr> <tr> <td>アメリカ</td> <td>5月 +4.8%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA +3.6%</td> </tr> <tr> <td>E U</td> <td>5月 +5.5%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3MA +6.8%</td> </tr> </table> <p>2008 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 (月) (年)</p>	全体	5月 ▲2.5%		3MA +1.1%	アジア	5月 ▲0.2%		3MA +3.1%	アメリカ	5月 +4.8%		3MA +3.6%	E U	5月 +5.5%		3MA +6.8%
	全体		5月 ▲2.5%															
	3MA +1.1%																	
アジア	5月 ▲0.2%																	
	3MA +3.1%																	
アメリカ	5月 +4.8%																	
	3MA +3.6%																	
E U	5月 +5.5%																	
	3MA +6.8%																	
(6月) 緩やかな増加が続いている。																		
国内企業物価	(7月) 上昇している。	<p>企業物価の推移 (2015年=100)</p> <p>輸入物価(目盛右) 輸出物価(目盛右) 国内企業物価 国内企業物価(参考指数、消費税抜き)</p> <p>2008 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 (月) (年)</p>																
	(6月) 上昇している。																	
消費者物価	(7月) 横ばいとなっている。	<p>消費者物価の推移 (2015年=100)</p> <p>生鮮食品を除く総合 生鮮食品及びエネルギーを除く総合(政策等による特殊要因を除く、太線) 生鮮食品及びエネルギーを除く総合(細線) 総合</p> <p>2010 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 (月) (年)</p>																
	(6月) 横ばいとなっている。																	
海外経済	(7月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直している。先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、感染の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。	<p>(7月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直している。先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、感染の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p> <p>(6月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直している。先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、感染の再拡大によるリスクに十分留意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。</p>																
	(6月) 世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直している。先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、感染の再拡大によるリスクに十分留意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。																	